

令和7年度 坂越中学校区小中連携教育 活動記録

1 令和7年度 小中連携教育研究部会具体的実践

『本年度の研究テーマ』

○小・中学校相互の授業研究を通して、子どもたちの実態の相互理解につとめる。

○国語科の系統性を把握し、指導の継続性を求めて指導の改善を図る。小・中学校9年間を見通した指導の相互理解につとめる。

2 坂越中学校区の活動報告

小学校

○実施日：令和7年11月20日（木）5時間目
（13：25～14：10）

○単 元：国語科「発見 日本の文化の魅力」

○事後協議 14：30～
（於：会議室）



中学校

○実施日：令和7年12月5日（金）5時間目
（13：30～14：20）

○単 元：国語科「平家物語」

○事後協議 14：35～（於：コミュニティールーム）

3 まとめ

児童・生徒にとって、最も身近な教科である国語に関する学習を、楽しみながら行うことの良さを感じることができた授業になった。中学校・小学校ともに授業を参観し合うことで児童・生徒の実態を把握する良い機会になったとともに、「国語は難しい」と考えている児童に対して、これまでの学習のつながりであることを授業の中で感じさせることで、学習への不安解消のきっかけにもなったように思う。

事後協議では、授業の内容だけでなく、小学生の内に身に付けさせたい基礎学力や、つまづくポイント、学習形態などについて交流することで、小学校での授業の工夫や中学校でのさらなる授業改善について考えることができた。今後も、積極的に情報交換を行い、小学生から中学生へと成長する過程の中で、効果的な学習方法や支援の在り方を模索し、児童・生徒の自ら学ぶ力を育成できるような授業づくりに取り組んでいきたい。

